



社会医療法人 栄光会

栄光病院

EIKOH HOSPITAL

広報誌 (医療版)

Vol. 30

2022 Apr

手と目と



「桜」
回復期リハビリテーション病棟
の作品

■Contents■

- 巻頭言
- 特集～看護管理室の紹介～
- 部署紹介
- 【連載】
医療・看護の質向上への取り組み
- 健康のためのちょっとイイお話し
- Information
- 編集後記
- 診療スケジュール

(「栄光会フィロソフィ」より)

「今月のことば」
栄光会に身を置くスタッフは、
心と心の絆・信頼関係を基軸に、
法人の理念・経営に積極的に参画する
同志であり、
業務改善のために力を合わせて戦う
パートナーでもあります。

「今月のことば」

「手と目と」

この言葉には、
「手」と「目」で「見る」
(手+目=看)という
私たちの思いが込められています



社会医療法人 栄光会
理事長・院長 井上 裕



栄光会病院の理事長・院長の井上です。コロナ禍の中、病院が地域や病気の患者さんにとってどうあるべきかを考えつつ、同時に病院で働く仲間たちが健康で、できたら楽しく生活できるようにはどうしたらいいのかを考え続ける日々です。

コロナがやってきて二年になります。これだけ長いあいだ、私達を悩ませる「禍」となるなんて、初めは思ってもみませんでした。振り返ってこの日本の医療や日本独自の考え方が次々とあぶり出されてきました。

まずPCRですが、この検査手段が臨床の病気の診断に使われることになるなんて驚きでした。ただ世界の多くの国と違って、日本はこのPCR実施検査数が本当に少ないようです。どうしてなのか本当のところがよくわかりません。最初のころ「37.5度以上が4日以上続かないとPCR検査ができない」という状況からして異様なスタートでした。私達は外来で熱の続く方々をハラハラしながら見守り、自分の感染や院内感染を怖れながらPCRができる日を待つという構図でしたし、肺炎で急に状況が悪化し亡くなる方も多かったです。このスタートは我々医療者にも大きな影響を残していると思います。

今では外来でコロナが予想される方を診察することは、ごく普通のことですし内服薬、注射薬も開発されました。ワクチンもでき、また医療体制もしつかりしたものができ、当院でもコロナ感染後の方々の入院受け入れも積極的に行っております。

随分変わりましたが、今でもマスク着用や会食制限は続いています。社会はいろんな制限から開放される流れ（濃厚接触者を特定しない…等々）ですが、しかし医療関連施設である当院は、早々簡単に「しぼり」を解くことができません。面会制限や入院時のコロナ検査などは当面続くことになると思います。

患者様やご家族の皆様には、いましばらくご不自由をおかけすることになると思いますが、いつか夜が明ける日のことを願いつつ、栄光会は頑張っていく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

看護部長

退任のご挨拶



社会医療法人 栄光会
特任顧問 的野 修一

看護部長の的野です。
この度、令和四年三月三十一日をもって、看護部長を退任することとなりました。

平成二十八年、中島前部長から部長職を引き継いだ時のことを今でも鮮明に覚えています。二百名近い看護スタッフを束ねていく資格が自分にあるのか？前任の看護部長が築いてこられたことを壊してしまうのではないかと、そんな重圧で押しつぶされそうになる中で、今は亡き、下稲葉康之会長から頂いた「あなたがやりなさい。」という言葉に背中を押され、就任挨拶にも書かせていただいた「スタッフ一人一人がやりがいをもって、長く働き続けられる看護部」を目指して私なりに仕事をさせて頂いてきました。もちろん私一人では何も出来ず、師長会に連なる指導者、現場の主任、副主任をはじめとするスタッフの支えがあったからこそ来られたと思っています。そんな中で平成三十一年、栄光会看護部のすべてのスタッフが一つの思いをもって看護に邁進してほしいという思いから看護部の理念を「優（やさしき）」と改めました。今も看護部は患者の「痛み」「苦しみ」「悩み」「悲しみ」という憂いを覚悟をもって共に背負い、看護にあたってくれていると信じています。

四月からは堤千香子新看護部長のもと、新しい体制がスタートします。医療情勢がいまだ厳しい状況にはありますが、これからも栄光会の目標である「こころ」も「からだ」もともに癒され、しあわせに生きる医療を目指して、地域住民に必要とされる看護部であり続けて頂きたいと願っています。

最後になりましたが、看護部長としての六年間を支えて頂いた看護部を始め、栄光会の全ての皆様から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

看護部長

就任のご挨拶



社会医療法人 栄光会

看護部長 堤 千香子

輝かしい春を迎え皆様にはお健やかにお暮らしのことと存じます。今年度より看護部長に就任いたしました。堤千香子と申します。

私事で恐縮ですが、栄光会には昭和六十三年に入職し、二十一年間主に外来・手術室・外科系の急性期病棟に携わって参りました。平成二十一年に家庭の事情で一度退職いたしました。翌年再入職し当時の栄光会クリニク博多の森へ着任となりました。その後、栄光会初の小児科開設と現在の栄光会ファミリークリニクへの統合に携わり、今年二月、十三年ぶりに栄光病院へ帰任することとなりました。今年度より大役を引き継ぎ、重責に身の引き締まる思いで日々を過ごしております。

的野前看護部長が、掲げられた看護部理念「優（やさしさ）」の中に込められた想い、栄光会看護部は、患者の「痛み」「苦しみ」「悩み」「悲しみ」という憂いを覚悟をもつて共に背負うことを、しっかりと継承して参ります。

看護部長一年生ではありますが、一つ一つの問題に対し、周りのスタッフに相談し話し合いながら解決をしていきたいと思っております。そして、個々のスタッフの経験と知識や考え方を尊重し、より良い看護が実践できるように務め、私自身も一緒に成長していきたいと考えております。

私もこの志免町に拠点を置き三十年以上になります。この大好きな志免町で地域の皆さんと患者さんのお役に立てること、そして「栄光病院に来て良かった・栄光会を知り安心した」と満足していただけることを大切に、栄光会全職員が仕事に誇りを持ち、自己の成長を感じながら働き続ける職場環境を作ること、それが私の目標です。

的野前看護部長、看護部長としての六年間私たちが看護部に全力でのご尽力いただき心より感謝申し上げます。

看護管理室には1日を通して様々な人たちが訪れます。

看護管理室には、多くの役割があるなかで多職種とのコミュニケーションも大切にしています。常に入口のドアをオープンにすることで看護部に限らず気軽に声をかけていただき立ち寄りいただける、そんな看護管理室をめざしています。

<看護管理室の役割>

- 1) 看護部の運営方針・目標設定と評価・修正
- 2) 看護部の人員配置・人事：人財活用
- 3) 看護師の採用計画や就業活動
- 4) 教育活動：人財育成
- 5) 病院運営への参画



2/1より
看護管理室を
開設
いたしました

看護管理室に配属になりました、副看護部長の下稲葉道一と申します。今回、現場を離れ、患者さんと直接接する機会が減る事に寂しさはありますが、看護管理室でも患者さんを中心に物事を考え、使命感・情熱を持って行動したいと考えています。また、看護部長をはじめ、各師長・主任と協力し、看護部がより働きやすい職場となるように、努めていきたいと思っております。未熟者ではありますが、精一杯務めさせていただきます。よろしくお願致します。



副看護部長
下稲葉 道一

看護部



2004年6月よりホスピス病棟に勤務しています。自分らしさを大切に最期まで生きる患者さんを支え、寄り添うことをスタッフみんなと日々目指しています。よろしくお願いいたします。

■ 2C 病棟・看護師長 神信 美砂



1993年より勤務をし、各部署を経験させていただきました。沢山の支えがあって勤務することが出来ました。皆がはつらつと勤務できる病棟運営をしていきたいと思っています。

■ 3A 病棟・看護師長 谷 幸子



ホスピス病棟をA→B→Cと一巡して約12年ぶりに3Aに戻ってきました。初心に戻りホスピスケアを頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 3A 病棟・看護師長代理 村勢 加寿代



ホスピス病棟の師長を務めます、梅野理加です。私は忍耐・品性・希望を motto にケアを行っています。患者様ご家族、職員が安心して過ごせる病棟であり続けられるように頑張ります。

■ 3B 病棟・看護師長 梅野 理加



地域包括ケア病棟に異動し1年経ちました。入院最長60日を限度に在宅療養・社会復帰・転院・施設入所に向けてスタッフと共に笑顔を忘れず全力でサポートしていきます。

■ 4A 病棟・看護師長代理 石田 美千代



神経難病センター病棟師長として5年目を迎えました。神経難病と共に生きる患者様・ご家族の大変さに寄り添い、少しでも喜びを感じて頂く療養を提供できるようチームで励んでいます。

■ 4B 病棟・看護師長 波多野 智子



今年の2月より外来から異動となりました。外来所属歴が長く、病棟所属はかなりのブランクがあります。一から学び、リハビリを頑張る患者さん達に寄り添えるよう頑張ります。

■ 5A 病棟・看護師長代理 倉田 正子



病棟から外来に異動となりました。「外来看護」の大切さ・楽しさを学び中です。外来は病院の「顔」なので、「顔張ろう」と思います！！どうぞよろしくお願いいたします。

■ 外来 看護師長代理 岡崎 祥子



この部署が新設されて丸4年が経ちました。これからまだまだ患サポとして求められる役割や課題があると思いますが、一步一步前に進んでいけるように自分なりに頑張っていきたいと思っています。

■ 患者サポートセンター・看護師長 鎌倉 富雄



「がん」と診断を受け、今後どうしたらいいのだろうと悩んでおられる方々へ、栄光ホスピスの『ところ』をお伝えできるように、ご相談を承っています。直通 TEL:092-692-1070 へご連絡下さい。

■ ホスピス地域連携室・看護師長 西尾 雅代



私は在宅医療センター配属になり6年目になります。一昨年より管理者となりました。みんなで楽しくを motto に、これからも在宅や栄光会の患者様の為にがんばります！

■ 在宅医療センター・看護主任 吉竹 美鈴



2月より訪問看護ステーション管理者となりました。利用者様、ご家族様が安心して穏やかに自宅で過ごせるようにスタッフと共に精一杯お手伝いしたいと思います。

■ 訪問看護ステーション・看護主任 柳沼 由加理



2月よりファミリークリニックに異動となりました。関恵美子です。長年訪問看護という部署で働いてきた経験を活かして、地域の皆様の為に尽力させていただきます。

■ 栄光会ファミリークリニック・看護師長 関 恵美子

ICT リンクスタッフ委員会紹介



病院内の感染対策の専門チームである院内感染対策チーム（Infection Control Team）の実践モデルとして栄光病院外来、各病棟、ファミリークリニックの各部署にそれぞれ1名以上の看護師が配置されています。

リンクスタッフは日々の看護業務にわけて手指衛生遵守向上への取り組み、薬剤耐性菌の検出報告と対策、標準予防策の徹底など感染対策の視点から問題点や課題を抽出することに努力しています。

現場の問題点や課題をリンクスタッフ委員会で話し合い、感染防止対策室と連携し実現可能な改善策を導きます。所属部署にもちかえり、看護師や医療スタッフへの情報・知識・技術の提供や浸透にも努めています。



2022年度 感染対策リンクスタッフから一言です！！

委員長：4A病棟 荒木理恵子、首藤佳乃

正しい知識を習得し、誰もが感染対策を実施することができるように周知していきたいと思えます。

副委員長：4B病棟 加来幸子、藤村真帆

病棟一丸となってコロナに対抗します！ 打倒！コロナ！！

外来：小川安子、野田理恵（感染防止対策室）

発熱外来診療やトリアージを行い、病院玄関であらゆる感染症の流入を阻止すべく努めております。感染防止対策室所属看護師としてファミリークリニックとも連携し、栄光会全体の組織横断的な感染管理・感染対策を実践します。栄光会に関わるすべての方々を医療関連感染から守り、皆さまの安心・安全のために尽力いたします。

2C病棟：吉良恵理子、有富丈浩

手洗い、消毒頑張ります。

3A病棟：植木保奈美、百田真理、湯川綾子

安心、安全な環境作りに励みます。

3B病棟：松本あづさ、鹿毛智美、橋村真希

コロナ禍でも患者様とご家族が共に過ごす時間をもてるようにオンライン面会等活用しています。また、マスクの着用、手洗い、『密』の回避など基本的な感染対策を実施しています。合言葉は『コロナに負けるな！』です。

5A病棟：穴井加奈子、村田千笑

感染対策につとめICTリンクスタッフナースとして頑張ります。コロナで相変わらず大変な1年でしたが、スタッフと協力して対策できたと思います。

ファミリークリニック：久保山佳子、正木由美、石井咲紀

ファミリークリニックでは、成人・小児の発熱外来の対応を行っております。何かありましたらお問い合わせください。



健康のための

ちよつとイイお話し

歯周病と認知症

歯周病は誰もが知っている病気ですが、口の中だけの問題と考えがちです。

しかし、歯周病は全身と関連していることがわかっています。

歯周病は細菌感染により引き起こされますが、中等度になると歯周ポケットの表面積は手のひらの大きさの潰瘍に匹敵すると言われ、血管を通じて体の様々な部位に二次的な病気を引き起こします。感染性心内膜炎や肺炎、低体重児出産、糖尿病とも関連が深いと言われています。

超高齢化社会のわが国では、2025年には高齢者の5人に一人が認知症になるとの推計が出ており、認知症の約2/3はアルツハイマー型認知症と言われています。

歯を失うと認知症の発症リスクが高まるという研究や歯周病菌の一つ（ジンジバリス）がアルツハイマー病を誘発するという報告もなされています。

ジンジバリス菌は強力にタンパク質を分解するジンジパインという酵素を作ります。



かとう歯科クリニック

院長 加藤 明彦

ジンジパイン酵素は歯周病患者の歯肉の中で検出されますが、アルツハイマー病患者の脳中海馬という部分に病気の進展に応じて著しいジンジパイン酵素の沈着を認めたとの報告があります。ジンジパインの阻害薬は現在臨床試験が行われています。

将来的には薬でアルツハイマー病を減らすことができるかもしれませんが、現段階では歯周病の治療や予防をすることも大切と考えられています。



かとう歯科クリニック

☎ 092-931-2200

【診療時間】(受付時間は終了の30分前)
平日(月~金) 10:00~1300//14:30~19:00
土曜 10:00~1300
日曜・祝日休診

院長 加藤 明彦 先生
住所 糟屋郡志免町南里 7丁目 8-26

病棟スタッフからの
感謝のことば

回復期リハビリ病棟では、
毎日患者さん方がそれぞれの病態に伴う障害に対して
リハビリを頑張っておられます。
そのリハビリを頑張るためには栄養、いわゆる食事がとても大切となります。
栄養がとれなければリハビリも進みません。
そのような大切な栄養を摂るためには
歯の健康は非常に重要なものとなります。
加藤先生はそんな患者さん方のとても心強い味方です。
いつも丁寧な往診ありがとうございます。スタッフ共々感謝しています。
(5A病棟スタッフ一同)



新入職ドクターのご紹介



川上 豪仁

かわかみ たけひと

所属 ホスピス病棟

はじめまして！

2021年12月より栄光病院に着任いたしました。ホスピス3A病棟が主な勤務の場となります。経験したことのない規模と歴史のある栄光病院での勤務に緊張しつつ、スタッフの皆様の暖かいサポートで、徐々に馴染んで来た気がします。患者さん、ご家族の心に届くホスピスケアに努めて参りたいと思います。趣味はマラソンなどの持久系スポーツ全般です。早くコロナ禍が去り、皆様と病院外でも集える日が来ることを願っています。

〈所属学会／専門医など〉：日本緩和医療学会認定医、がん治療認定医、日本外科学会認定医



井手 昇

いで のぼる

所属
回復期リハビリ病棟

2022年1月1日付で、栄光病院に就職させて頂きました井手昇と申します。

1995年に愛媛大学医学部を卒業し、長崎大学医学部第1外科に入局しました。その後、外科医として医局の人事で働いておりましたが、ある患者様を担当してから、リハビリテーションに興味を持ち、2007年にリハビリテーション科に転科し、大牟田天領病院と聖マリア病院で研修させて頂き、専門医を取得することができました。リハビリテーション科医師として、患者様の病気のみでなく、生活を含めてかかわっていけたらと思っております。また、リハビリテーション医療は、医師一人ではできないため、リハビリスタッフや看護師、介護士、ソーシャルワーカーなど多職種と協力し合って、チーム医療を行っていけたらと思っております。よろしくお願ひします。

〈所属学会〉：日本リハビリテーション医学会、日本臨床栄養代謝学会、日本外科学会

〈専門医〉：日本リハビリテーション専門医、日本リハビリテーション認定医、日本外科学会認定登録医



藤木 亮輔

ふじき りょうすけ

所属 神経難病病棟

2022年4月1日付で栄光病院勤務となりました藤木亮輔と申します。

2004年に九州大学を卒業後、九州厚生年金病院で2年間の卒後臨床研修を終え、九州大学医学部脳神経内科に入局しました。その後は九州大学病院（1年間）、下関厚生病院（2年間）で勤務後、大阪大学医学系研究科（分子神経科学教室）で博士号を取得致しました。その後は同教室で助教として勤務後、2015年10月からはBoston Children's Hospitalに留学し、基礎研究を継続しました。2018年10月に帰国後、当院に赴任するまでの4年弱は小倉記念病院で臨床復帰しました。当院では脳神経内科疾患の慢性期の診療やリハビリテーションについて学びたいと考えています。皆様、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

〈所属学会〉：日本内科学会、日本神経学会

〈専門医〉：日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医

編集後記

「手と目と」を最後までお読みいただきありがとうございます。

執筆にあたり、ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。

待ち遠しい桜も咲き誇り、とにかく、どこかにふらっと出かけたくくなります。

まだまだ、何かと不便の多い今日ですが、この状況が1日でも早く解消され、

平穏な日々が取り戻せるよう、あまり気負わず乗り切りましょう (^_^) (深川)

※広報誌の送付が不要な方は
下記までご連絡ください。

社会医療法人 栄光会
広報営業部会 担当：安川（和）
TEL 092(935)0147

E-mail k-yasukawa@eikoh.or.jp

■ 栄光病院

(2022年4月1日現在)

曜日	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合	①	原 藤木	布巻 原		青戸 安藤		原/安藤 豊永		豊永 青戸		原/安藤 手越	
	②	当番医	鶴田		原		斎藤		鶴田		手越	
	③		豊永									
外科	井上		井上		井上/斎藤		斎藤		斎藤		井上/斎藤	
専門・ 予約 外来	循環器				畑島 折田義		折田加 吉武					
	呼吸器				安藤				安藤		城 <small>(第1土曜)</small> 常岡 <small>(第3土曜)</small>	
	糖尿病		豊永		豊永			福永 <small>(再診のみ/15時迄)</small>				
	脳神経内科	鶴田		大野	藤木		大野		藤木			
	整形外科		山口	本村				原雄人 <small>(am10:00~)</small>				
泌尿器科										九大		

診療スケジュールは都合により変更となる場合があります。予めご了承ください。

○診療時間は、9:00~17:00(昼休み12:30~13:30)となっています。なお、午前中の受付は12:00までとなっておりますのでご注意ください。ただし、急患は24時間いつでも受け付けております。

○専門外来・ホスピス相談は原則として予約制となっています。ご予約がないときは、お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

【救急外来受付】

救急患者さんの受け入れを

24時間体制で行っています

※事前に  お電話にて
診療科の確認をお願いいたします
TEL.092-935-0147

栄光病院 健診センターのご案内

皆さまの日頃の健康の維持・増進のための施設です。日本人の半数以上が「がん」と「動脈硬化」で亡くなります。これらの病気は知らないうちに進行し、症状が出た時は手遅れになります。それを早期発見し、治療につなげようというのが健診やドックのコンセプトです。

詳しいことは、電話でお問い合わせください。
TEL. 092(935)0147 (病院代表)

栄光病院グロリア基金のご案内

栄光会の医療・介護・福祉の事業展開のために皆さまお一人お一人のお力添えを心よりお願い申し上げます。栄光会事業の趣旨にご賛同賜り、ご支援頂けますならば、誠に幸甚に存じます。

【グロリア基金 お振込口座】

栄光病院グロリア基金 代表 井上裕
西日本シティ銀行 博多支店 普 No.1533165
福岡銀行 吉塚支店 普 No.1443197
郵便振替 No.01730-8-76630 (代表者名等なし)

*法人・個人を問わず任意の額で結構でございます



救急告示病院

社会医療法人 栄光会

栄光病院

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

Tel.092(935)0147

Fax.092(936)3370

URL: <http://www.eikoh.or.jp>

E-mail: eikoh@eikoh.or.jp